

会報

# やまばと

(第82号)



発行

社会福祉法人 浄泉会  
秦野市渋沢2620-2  
TEL 0463 (87) 1188  
発行人 西田精吾

E-MAIL

yamabato@galaxy.ocn.ne.jp

URL

http://yamabato.org/

理事長挨拶

浄泉会 やまばと学園 理事長 西田 精吾



新年あけましておめでとうござい  
ます。皆様には新年を健やかに  
お迎えのことと心よりお慶び申し  
上げます。

旧年中は当法人各事業所の地域  
の皆様、又、役員の皆様方、保  
護者会、「はとの会」(後援会)  
の皆様又、行政の皆様には何かと  
ご支援ご指導ご鞭撻を賜り心から  
厚く御礼申し上げる次第でござい  
ます。

さて、今年の干支は「癸卯」  
(みずのと・う)で、この年は、  
これまでの努力が実を結び勢い良  
く成長し飛躍するような歳になる  
とあります。但し、ウサギはぴよ  
んと飛び跳ねることから何か突発  
的なことが起こる可能性もありと  
のことですので、慎重を期すと

もに迅速な対応を行なって参りた  
いと思えます。お蔭様でこの感染  
症が始まって以来、職員全員の努  
力で、利用者様へのコロナ感染は  
一名のみにとどまっております。  
職員においては若干名ありました  
が、大事に至らず、職員又、ご協  
力いただいている保護者の皆様に  
も心から感謝申し上げますとも  
に、今年も継続いたして参る所存  
です。又、今後もインフルエンザ  
はじめノロウイルスといった感染  
症はありますが、職員全員でその  
防御に継続努力いたして参りたい  
と思えます。引き続き保護者の皆々  
様のご支援、ご鞭撻、ご協力のほ  
ど心よりお願い申し上げます。

さて、例年、当法人ではその年  
の目標語を決めておりますが今年  
の目標語は「敬天愛人」(けいて  
んあいじん)といたしました。直  
訳すれば「天を敬い、人を愛する」  
の意味ですが、仕事に当たっては  
自ら正しい考え方、迅速行動で、  
利用者様主体に則った支援を行う、  
又、利他の心を大事にしつつ、お

互いに協力しあい仕事を進めると  
いうことであります。

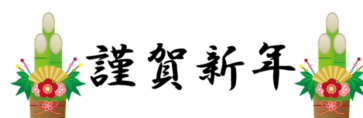
世の中は益々デジタル化が進みま  
すが、私たちの職場でも取り入れ  
てまいります。さはさりながら、  
私たちの仕事はマンツーマンが主  
力であり生産性の上げにくい職種  
でもあります。AI・ICT・I  
OT等の取り組みを先進事業者等  
に学び、利用者様の安全、職員の  
負担軽減等に生かして参りたいと  
考えております。

本年も皆々様の益々のご健勝、  
ご多幸、ご発展を心より祈念申し  
あげますとともに変わらぬご支援  
ご鞭撻を賜りますよう、心よりお  
願い申し上げます新年のご挨拶  
とさせていただきます。



新年の「挨拶」  
保護者会 会長

細谷和美



謹賀新年

新年あけましておめでとうございます。

コロナ禍の影響により令和二年四月以降、

保護者会の全体会議は一度も開催することができませんでした。いつ再開できるか都度、

タイミングを図っておりました。現時点において行動制限もないことから令和四年十二月十一日無事に開催する事ができました。会場はやまばと学園ではなく秦野西公民館をお借りしましたが本場に久しぶりに皆様の元気なお顔を拝見して、とても嬉しく思いました。まだまだ第八波とインフルエンザも懸念されますが本年は利用者として保護者が一緒になって各種行事に参加出来る様に願うばかりです。

又、利用者様が健康で笑顔あふれる充実した生活が送れるよう保護者会としてサポートして行くつもりです。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

新年の「挨拶」

はとの会 会長 加藤明子

新年あけましておめでとう御座います。

毎年「はとの会」に沢山の後援をありがとうございます。

この三年：コロナ感染症の収束がみえない今日ですが利用者を取り巻く、理事長を始め全職員の大変な努力のお陰でクラスターの発生もなく現状維持されて今日を迎えているのです。インフルエンザの接種を五回、インフルエンザの接種の体調管理。年間の行事もない中でストレスも溜まって支援員の負担が多くなるのではないかと。いや職員の方々が一丸となって手作り行事を設定してくださり、毎日の三回の食事も考案してくださり笑顔で食事を友達と召し上がっている姿を面会時にガラス越しで見えた時は、胸が熱くなります。



私達も子供達の為に一步一步「はとの会」(後援会)の為に頑張ります。これからも今迄同様「はとの会」の応援を宜しくお願いします。

「つながり」

地域支援課 係長

福田桂助

私には、もうすぐ四歳になる息子がいます。日々、食べて、遊び、学び、そして眠る。その繰り返しで時はあつという間に過ぎて新しいことを覚える息子を見てみると、その成長の早さにいつも驚かされてばかりです。私が幼い頃、私は父に色々な場所へ連れて行ってもらいました。その中の一つに、釣りを教わりました。もちろん、今でも釣りは好きです。先日、息子を連れて震生湖に行き、一緒に初めての釣りをしました。釣り上がった魚に喜んでる姿を見て、とても嬉しくなりました。父が私に教えてくれたように、私もまた息子に同じことを教えてあげたいと思っています。その日の最後に撮影した釣りの写真を父の携帯電話に送信しました。でもその時、父にはその写真を見る力が残っていませんでした。末期がんでした。今年度、グループホームでは二件の看取りがありました。今後、入居者様の高齢化が進むなかでの課題や必要な準備が見えてきた大きな出来事でした。ご家族、成年

後見人、職員、医療機関の思いが一つになった瞬間でもありました。この経験は、父の最後を支える時にもとても役立ちました。

私が父から教わったことは、一生、私の中で残り、それが大切な父との繋がりとして残っています。私が大切に感じたこの繋がりを、今は息子へ伝えていきたいと思えます。これは、この仕事においても言えることです。自分が大切だと思ったことを他の職員に教え、積極的に関わりを持ち、単に仕事を覚えるのではなく、人としての成長を促すことも職員の役目の一つだと思っています。そうして生まれた成長と職員同士の繋がりは、職員の一生ものの「力」となり、その「力」は法人の発展に大いに寄与することでしょう。そして、私自身、これらの先駆的な存在になれるように精進したいと心に決めています。

最後に、令和四年十月より、地域支援課係長を拝命しました。法人と利用者様の期待

に答えられるよう微力ながら皆さまのお力になれば幸いです。





令和四年度秋祭り  
生活支援課 小林孝治

今年の秋祭りは、お祭りとしての雰囲気味わってもらえるよう行事担当が一丸となり、模擬店等のアイデアを考え企画しました。

当日は、学園三階の多目的室で模擬店を開き、一階食堂で食事をしました。模擬店では、



ボウリングや的当て、飾り付けをした場所で写真撮影する所謂「映えスポット」を企画しました。利用者様と職員が楽しく写真撮影されているのが印象的でした。食堂では、たこ焼きとたい焼き、ジュースを用意しました。たい焼きは、食堂と通所棟の間にキッチンカーを配置して利用者様に受け取りに行ってもらいました。感染症対策と利用者様の食事見守りを兼ねて食事人数を制限させてもらいました。ゆっくりと安全に食事をしてもらうことができ秋祭りを終えることができました。利用者様から楽しかったとの言葉を頂き行事担当として嬉しく思いました。

バス旅行代替イベント「移動型動物園」  
生活支援課 菊澤宗寿

昨年同様、コロナ禍による代替イベントとしてカントリーファームの移動型動物園に来ていただきました。普段は静かなやまばと学園が、朝から鳥類の声で俄かに賑やかな雰囲気になりました。また、昨年にはなかった自由に触れるウサギやモルモットもいるエリアがあり、そこに腰を据えてしまう微笑ましい光景が見られました。鑑賞時間も余裕を持ったスケジュールにしていたので、ゆっくりと見られて良かったとの感想もいただきました。



二年連続でかなりの好評をいただいているこの企画、わたくし個人的には代替イベントとしてはもったいないような気がしており、バス旅行とは別の動物園企画として年間行事に組み込んでも良いのではないかと自己満足に浸ってしまった次第です。関係各位、ご協力ありがとうございました。

クリスマス会とクレープ会  
生活支援課 山本追風

令和四年度の入所棟合同ニーズ企画としてクリスマス&クレープ会を企画致しました。



三階フロアでは、なんとサンタさんがクリスマスプレゼントを渡しに来てくれました。サンタさんの登場に利用者様は沢山の素敵な笑顔を見せてくださいました。昼食としては「魚作」のお弁当を提供させて頂きました。事前にメニューを選んでも頂いていたので当日は好きな弁当を前に目を輝かせながら召し上がられていました。

おやつの中には、移動販売「クレープAloha」をお招きして、クレープと「スターバック」のコーヒーを提供させて頂きました。甘いクレープと温かいコーヒーとで冬の寒さが吹き飛ばすような時間を過ごされていました。

利用者様だけではなく、職員も楽しめた心温まる行事になりました。

厨房より

調理主任 中野博

以前、勤めていた施設に国立大学の研修生が極刻み食を見て報告書に犬の食事より『劣る』と書かれた。そうであるうか、当園でも極刻み食は提供されている。私たちは仕事で様々な食事形態と食べやすい食事を追求して利用者様に提供している。『極刻み食』はその利用者様にとっては生き抜く為の食事だ。そして、食事は単なる栄養源ではない。食事を通しての感動場面は色とりどりだが、行事のお弁当は利用者様には大変喜ばれている。お弁当でも常食、一口大、刻み食、極刻み食(トロミ掛け)、ご飯の量の違いとお弁当調理はきめ細かい作業であるが調理職員は愛情込めて手際よく盛り付けていく。『劣る』と言った者が当園の行事食を見たら何と答えるのか!当園も高齢化と嚥下、咀嚼困難者の対応の食事づくりは変化をしていきます。『美味しさと食べやすさ』を園全体のテーマとして歩みたい。



愛情たっぷりイベント食♡

新人挨拶  
総務課 非常勤 川寿子

令和四年十一月より学園総務課の非常勤として勤務しております川寿子（かわとしこ）と申します。月曜、水曜、金曜勤務となるのでご挨拶がまだの方もいらつしやるかと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。また以前は事務職やサービス業をしておりましたので福祉については何も分からない事ばかりで、ご迷惑おかけするところもあるかと思いますが、一日も早く仕事を覚えるよう頑張りたいと思っておりますのでご指導のほど、よろしくお願いいたします。

新人挨拶  
通所支援課 廣川香

令和四年十一月より、やまばと通所センターに入職させて頂きました廣川香（ひろかわかおり）と申します。以前は相模原市の知的障がいの方、身体障がいの方がお住まいのケアホームや日中に作業をされる生活介護施設で働いておりました。この度、ご縁に恵まれやまばと学園で働けることを嬉しく思っております。これまでの経験を活かして、利用者様一人ひとりが生き生きと楽しく過ごせるような日中活動の

場を提供できればと思っております。私自身、食べること、体を動かすこと、物作り等の細かい作業が大好きです。日中活動を通して、利用者様とコミュニケーションを重ね、少しでも早く信頼関係を深めていけるよう努力して参ります。どうぞ宜しくお願い致します。

「寄附をいただいた方々のご紹介」

- 令和四年十月〜十二月
  - やまばと学園保護者会
  - やまばと学園
  - 利用者支援「はとの会」
  - 武田圭子税理士事務所
  - ㈱ブルミッシュ
  - 代表取締役吉田菊次郎様
  - ITエコ村（順不同）
- たくさんの方々から貴重な浄財をご寄附いただきました。有難うございました。

ボランティア便り

大好き「みかん山」  
今年度も西本義昭様西本利子様より、みかん狩りをご提供いただきました。大変ありがとうございました。



2022年12月1日みかん山にて

人事昇格・異動

令和四年十月〜十二月

◎入職者

通所支援課 廣川 香

（令和四年十一月一日付）

総務課 川 寿子

（令和四年十一月二日付）

地域支援課 谷口 俊輔

（令和四年十一月二日付）

◎退職者

生活支援課 大西 妙子

（令和四年十二月三十一日付）

地域支援課 鈴木ノリ子

（令和四年十二月三十一日付）



浄泉会やまばと学園利用者支援「はとの会」の会員・賛助会員を募集しています

社会福祉法人浄泉会

やまばと学園利用者支援「はとの会」

- 法人設立の趣旨をより効果的に実現する為に、社会福祉諸活動を支援しようとするものです。
- 障害者の皆様が快適で安心して安全で楽しくアットホームで満足できる生活を送れるよう支援しています。

法人会員	年額1口	20,000円
個人会員	年額1口	10,000円
賛助会員	年額1口	3,000円

会員には会報「やまばと」が郵送されます。

振込みは郵便為替で（手数料は本会負担）どこの郵便局でも00220-5-14491です。口座名は 浄泉会やまばと学園利用者支援「はとの会」新しく会員になられる方はご住所を電話等でお知らせ頂くようお願い致します。

やまばと学園内 はとの会係担当  
〒259-1322 神奈川県秦野市渋沢 2620-2  
Tel 0463-87-1188 Fax 0463-87-6876

編集後記

皆様新年明けましておめでとうございます。今年も皆様が楽しめる会報やまばと発行に向けて取り組んで参る所存でございますので、よろしくお願い致します。つきましては、左記ブログも毎月更新しておりますのでお目通しいただけると幸いです。（山口）

やまばと学園

リニューアルしました！  
ホームページ  
<http://yamabato.org/>  
メールアドレス  
[yamabato@galaxy.ocn.ne.jp](mailto:yamabato@galaxy.ocn.ne.jp)